

手塚たかひろ 議会報告

NO17 2014年8月10日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072 - 849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.info/>



政務活動費は必要ない 議員報酬を半分に

先日辞職した兵庫県議会議員の報道をうけて、政務活動費が大きな問題となっている。枚方市は月七万円、年間八四万円を年四回に分けて、議員からの申請に基づいて政務活動費を支給している。議員の日常活動に使つほとんどのお金が支給対象となる。事実上の第二議員報酬、しかも無税。政務活動と日常的な議員活動との区別は難しい。議員の活動はすべて議員報酬で賄うべきだ。そのため、私は、一度も政務活動費を申請していない。議員報酬も高すぎると考え、手取りの半分以上を法務局に供託している。政務活動費、議員報酬の見直しを。

美術館の工事説明会（8月19日）ではなく、市民説明会の開催の継続を！ 市民参加で美術館のあり方、場所の再検討を！

7月31日 枚方市は8月19日（火）午後7時より開成小学校で工事説明会を開催すると発表した。市民の納得や合意を得ないまま、工事を強行するための工事説明会では中止し、市民全体への説明会を行うべきだ。当初、7月24日に予定していた工事説明会は、市長が出席した美術館説明会に急遽変更された。また、予定されていた別棟の茶室は提案されなかった。多くの市民からの要望や街頭での宣伝行動、6000筆の署名などが、市に日程の変更を余儀なくさせた。説明会では、多くの市民から市長へ「里山の緑を破壊するな」「全体像が明らかでない。全体像を明らかにして市民全体への説明会を行うべき」「庭園の維持管理費が入ると、毎年の維持管理費は7400万円を超える」「勇気ある撤退を、白紙に戻すべき」などの意見や提案が述べられた。市長の答弁は「美術館が地域再整備のシンボル、必ず喜んでいただける。公園もリニューアルする」などを繰り返すだけで、住民の納得や理解を得られるものではなかった。時間切れで説明会が打ち切られても、再度の説明会を要望する住民の声が会場に渦巻いた。説明会の継続を求める。当日の内容の要旨を裏面に掲載（市のホームページにも要旨を掲載）

生涯学習市民センターと図書館の指定管理者制度導入は再検討を

市長は、3月議会の市政運営方針で、生涯学習市民センターと図書館が併設された6施設の指定管理者制度の導入を打ち出した。市民生活に密接な両施設、市の責任を曖昧にして民間に任せることのできる指定管理者に任せて良いのか、慎重に考える必要がある。

導入に向けて枚方市は、生涯学習施設と図書館のサービス向上と効率的な管理運営等に関する意見聴取会が、以下の日程で行われます。多くの方のご参加を。

8月21日（木）午後2時から4時

津田生涯学習市民センターホール

8月27日（水）午後6時30分から8時30分

牧野生涯学習市民センターホール

8月31日（日）午後2時から4時

サダ生涯学習市民センターホール

*議員報酬・期末手当の手取りの半額を法務局に供託しています

*政務活動費は受け取っていません